堆肥をめぐる情勢

令和4年9月 畜産環境シンポジウム

農林水産省 畜産局 畜産振興課

1. 今、堆肥への注目が高まっています

肥料価格の推移

- 肥料原料の輸入価格は、昨年半ばより高騰。
- こうした中、昨年10月以降、中国が肥料原料の輸出検査を厳格化し、我が国の肥料原料の輸入が停滞。 これを受け、協調買入の要請や資源代替国との資源外交を行い、本年の春用肥料は例年並みに近い供給量を確保。
- 本年の秋用肥料についても、調達国の多角化等に向けた取組を実施したところ。

肥料原料の輸入価格の推移



[※] 農林水産省調べ 財務省貿易統計における各原料の輸入額を輸入量で除して算出。 ただし、月当たりの輸入量が5,000t以下の月は前月の価格を表記。

みどりの食料システム戦略

- 農林水産省においては、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現するため、令和3年5月 にみどりの食料システム戦略を策定。
- この中で、「2050年までに輸入燃料や化石燃料を原料とした**化学肥料の使用量を30%低減**する」との目標を掲げ、<mark>有機物の循環利用</mark>や、施肥の効率化・スマート化を推進。



1 有機物の循環利用

たい肥の投入による生産性の向上を実証し、農家のたい肥利用を促進するとともに、たい肥の高品質化・ペレット 化技術等の開発や広域流通なども進め、耕種農家が使いやすいたい肥等がどこでも手に入る環境を整備すること で、たい肥等による化学肥料の置換えを進める。

目標達成に向けた技術開発

- ・たい肥の製造コスト低減・品質安定化技術や低コストなペレット化技術
- ・汚泥等からの肥料成分(リン)の低コスト回収技術

目標達成に向けた環境・体制整備

- ・たい肥による生産性向上効果を現場で実証しつつ取組を拡大[持続可能な生産技術への転換を促す仕組みや支援を検討]
- ・地域の有機性資源の循環利用システムの構築(たい肥の高品質化・ベレット化、たい肥を原料とした新たな肥料の生産、広域流通体制等)

2 施肥の効率化・スマート化

土壌や作物の生育に応じた施肥や作物が吸収できる根圏への局所施肥等で施肥の無駄を省き効率化するとともに、データの蓄積・活用により最適な施肥を可能にする「スマート施肥」を導入する。

目標達成に向けた技術開発

- ・ドローンや衛星画像等を用いて、土壌や作物の生育状況に応じて精密施肥を行う技術
- ・十壌や作物などのデータを活用したスマート施肥システム
- ・有機物なども活用した新たな肥効調節型肥料、土壌微生物機能の解明と活用技術

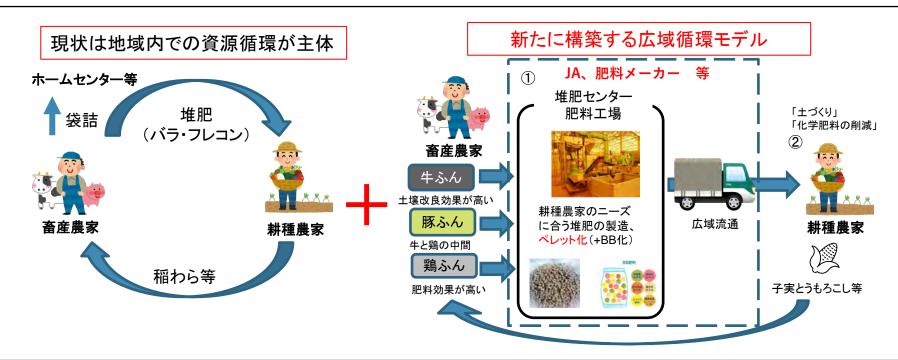
目標達成に向けた環境・体制整備

- ・土壌分析に基づく施肥の実践、ドローン等を用いた精密施肥技術の現場実証や農業者への機械導入
- ・土壌や作物などのデータを地域や各システムを越えてビッグデータ化
- ・スマート施肥システムによるデータに基づく最適施肥の実現

2. 自分にあった堆肥の売り方は?

家畜排せつ物の資源循環利用について目指していく姿

- 家畜排せつ物の循環利用については、地域内の耕種農家との稲わら交換等による地域内での資源循環が主体。
- 今後、広域循環による新たなビジネスモデルを構築していくためには、目指していく姿として、①JAや肥料メーカー等が堆肥センターや肥料工場で畜種別の特徴を踏まえた堆肥を製造・ペレット化した上で流通を担い、②耕種農家には、「土づくり」や「化学肥料の削減」など堆肥利用のメリットを実感してもらうことが必要。



広域循環モデルの構築に向けた課題

- ・畜産農家と耕種農家をつなぐ、JAや肥料メーカー等の参入
- ・ペレット設備の導入やそのコスト低減
- ・完熟化など原料堆肥の品質向上

- ・耕種農家における「土づくり」や「化学肥料の使用量の 削減」などの**堆肥利用のメリットの実感**
- ・堆肥散布の省力化・外部化等

家畜排せつ物の資源循環利用のための選択肢

○ 家畜排せつ物処理方法とその過程で製造される堆肥の資源循環利用の選択肢は複数あり、地域の事情に合った方式を選択することが重要。

流通モデル	メリット	課題
地産地消 (地場流通)	・袋詰や造粒のための機械が不要・稲わら利用などの地域内の 耕畜連携が図りやすい	・需要が耕種の作期によるため、大きな保管庫が必要 ・畜産が盛んな地域では価格やサービスの競合が発生
袋詰等 による 広域流通	・広域での大量輸送が可能 ・袋詰めにより、ホームセンター等での販売 が可能で、需要の安定確保につながる ジレコン バック 袋詰	・フレコンバックは重く圃場での取扱いが困難であり、トラック搭載の際、クレーンなどの作業機が必要 ・袋詰は別途荷揚げ・荷下ろし等の追加作業が発生 ・耕種側が散布機を有しないと大量施用は難しい
ペレット化による 広域流通	 ・容積が小さくなり、輸送効率が向上する ほか、施肥量は通常堆肥の約半分 ・耕種農家が保有する肥料散布機が 利用可能 ・化学肥料と混合した商品化(BB肥料) ペレット堆肥が容易 	・農研機構の試算によると、施設の投資コストは通常堆肥に比べ1割増となり、製造コストは1.7倍・製造の集約化によるコスト低減や複数の家畜種の堆肥の混合による高付加価値化が必要

3. 農林水産省の主な支援策

く対策のポイント>

持続的な畜産物生産に向けた取組を推進するため、家畜排せつ物処理に伴い発生する温室効果ガスの排出削減等に資する好気性強制発酵による堆肥 の高品質化やペレット化による広域流通のための取組、畜産経営から発生する悪臭の防止や排水の水質改善を更に進めるための高度な畜産環境対策の 導入の取組を推進し、畜産経営における環境負荷軽減の取組を後押しします。

〈事業目標〉

- 家畜排せつ物を好気性強制発酵で堆肥化する乳用牛・肉用牛の頭数割合の増加(13.7%「平成30年度〕 → 20%「令和10年度まで」)
- 家畜排せつ物を好気性強制発酵で堆肥化する豚の頭数割合の増加(23.2%「平成30年度]→ 40%「令和10年度まで])

く事業の内容>

1. 高品質堆肥の広域流通等を促進するための支援等

- 畜産農家等が高品質堆肥の流通等に取り組むにあたっての現状 や課題を分析・把握するためのコンサルタントによる改善指導等を行 う取組を支援します。
- ② 畜産農家が耕種農家や肥料メーカー等と協議会を設置し、堆肥 のニーズの的確な把握や生産の検討、広域流通や海外輸出、液肥 流通、堆肥の成分分析や試験的な堆肥施肥等の促進を図る取組を 支援します。
- ③ 堆肥の高品質化やペレット化等に必要な施設・機械を導入する取 組を支援します。

2. 高度な畜産環境対策

- **畜産農家が地域の関係者等と協議会を設置**し、高度な畜産環境 対策を推進する取組を支援します。
- 悪臭防止や汚水処理など、高度な畜産環境対策に必要な先進的 な施設・機械を導入する取組を支援します。

<事業の流れ>



民間団体等

(1.①の事業)

定額、

1/2以内

都道府県: 市町村



畜産農家等

く事業イメージン

1. 高品質堆肥の広域流通等を促進するための支援等

そのままでは嫌気性発酵 により、温室効果ガスが 発生し、環境負荷に











による指導

コンサルタント

好気性発酵により、温 室効果ガスを抑制し、 環境負荷が軽減



- 短時間で堆肥高品質化
- 施肥しやすいペレット化。
- 高品質堆肥の広域流通

2. 高度な畜産環境対策支援

環境負荷軽減に 資する高度な畜 產環境対策

(1.23、2の事業)



フィルター

太陽光で乾燥する堆肥舎

【悪臭防止】

○ フィルターの 表面に定着した 微牛物の働きに より、臭気を効 果的に脱臭



【汚水処理】

○ 既存の浄化槽 に後付けでき、 放流水中の微細 な有機物を効率 的に分離

○ 畜産高品質堆肥生産流通促進支援事業

【令和5年度予算概算要求額 94(-)百万円】

<対策のポイント>

みどりの食料システム戦略において温室効果ガスの排出削減、化学肥料の使用量の低減、有機農業の拡大などの推進が掲げられている中、持続的な畜産物生産に向けた取組の推進を図るため、家畜排せつ物処理に伴い発生する温室効果ガスの排出削減等に資する発酵処理技術、化学肥料の使用量の低減に資する堆肥の高品質化や広域流通について、畜産経営の理解醸成を図るとともに、高品質堆肥の生産技術の普及等を促進し、畜産経営における環境負荷軽減の取組を後押しします。

<事業目標>

- 強制的な好気性発酵処理技術に取り組む酪農経営家・肉用牛経営割合の増加(13.7% [平成30年度] → 20% [令和10年度まで])
- 強制的な好気性発酵処理技術に取り組む養豚経営割合の増加(23.2% [平成30年度] → 40% [令和10年度まで])

く事業の内容>

温室効果ガスの排出削減など**環境負荷軽減に資する高品質堆肥の生産・流通**に関して、以下の取組等を支援します。

1. 畜産経営による環境負荷軽減の取組に対する理解醸成

- ① 環境負荷軽減の取組に対する畜産経営の理解醸成等の促進のため の手法について検討を行う有識者等による**検討委員会の開催**
- ② 環境負荷軽減に取り組んでいる畜産経営を対象とした**優良事例の収集・調査**
- ③ 畜産経営の理解醸成等を図るための動画やパンフレットなどによる情報発信
- 全国の畜産関係者の理解醸成等を図るための事例発表等の開催

2. 堆肥の広域流通のための取組の推進

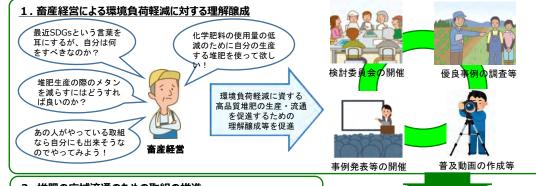
- ① 畜産経営が高品質堆肥の生産等に取り組む際の技術的課題を払拭 するための**堆肥の成分分析**等、専門家による現地指導・助言
- ② 畜産経営等が高品質堆肥の流通等に取り組むにあたっての現状や課題を分析・把握するためのコンサルタントによる改善指導等

<事業の流れ>



民間団体等

く事業イメージン







宝国の歯座を置において独制的な 好気性発酵処理技術の取組、ペレット堆肥による広域流通の取組 等が促進

[お問い合わせ先] 畜産局畜産振興課(03-6744-7189)

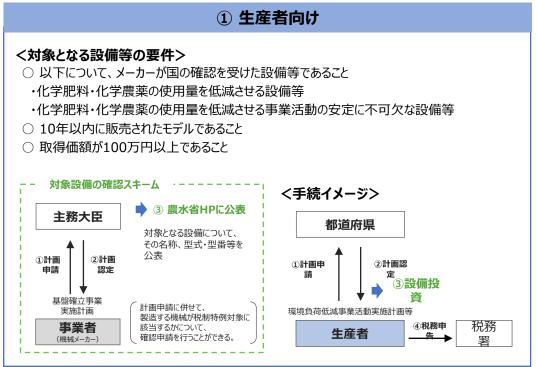
みどり投資促進税制

○ 有機農業や化学肥料・化学農薬の使用低減に取り組む生産者や、環境保全型農業に必要な有機質肥料などの生産資材を広域的に供給する事業者の設備投資を後押しします。

概要

機械等と一体的に整備する建物等も対象になります!

- ・都道府県知事の認定を受けた生産者や、国の認定を受けた資材メーカー・食品事業者等が 一定の設備等を新たに取得等した場合に、**特別償却(機械等32%、建物等 16%)の適用が受けられます**。
- ・本税制の適用は、租税特別措置法の規定により、令和6年3月31日までの間に、認定実施計画に基づき対象設備等を取得し、当該事業の用に供した場合に限られます。





4. 耕種農家に安心して使ってもらうために

堆肥の譲渡・販売を考えるなら、堆肥の生産の届出が必要です

堆肥を他者に渡す場合は、 有償・無償を問わず、届出が必要です!

肥料の品質の確保等に関する法律に基づき、 自ら生産した堆肥を



① 他者に渡す場合は、有償・無償を問わず、

生産業者としての届出 が必要です。

(第22条)

②また、有償で他者に渡す場合は、

販売業者としての届出 も必要です。

(第23条)

[※]畜産農家が自分で全て利用し、他者に渡さない場合は、生産業者としての知事への届出、販売業者としての知事への 届出はいずれも不要です。

知っていますか?クロピラリド

- ・農薬の成分であるクロピラリドは、米国、豪州等で幅広く使用され、粗飼料のほか、穀類や加工穀類(小麦ふすま等)に残留。家 畜に給与された場合、堆肥を通じて**園芸作物等の生育に障害を起こす可能性**がある。
- 人等に対する毒性を示すデータはなく、動物の体内からは速やかに排出されるため、人や家畜の健康への悪影響はない。



堆肥への信頼を守るため、以下のことを伝えましょう。

- 牛又は馬の排せつ物に由来する堆肥(排せつ物を含む)を販売・譲渡する場合
 - ① 提供先と次の情報を共有しましょう
 - <クロピラリドに関する情報>

輸入飼料を給与した牛又は馬の排せつ物に由来する堆肥には、クロピラリドが含まれている可能性があるため、 堆肥の施用に当たっては作物の種類や施用量に留意する必要がある

- 〈堆肥の原料に関する情報〉
 - ○家畜の種類(牛、馬)
 - ○家畜の用途(乳用牛、肥育牛、肥育馬等)
- <給与飼料に関する情報>

「新たに輸入飼料を給与し始めた」 「輸入飼料の購入先を切り替えた」等

■ ② 生物検定を実施した場合は、その結果を伝達しましょう

クロピラリド耐性の弱いサヤエンドウなどを用いた試験栽培(生物検定)を行った場合は、その結果を伝達しましょう。検定の方法は農林水産省のホームページに掲載しています。

5. もっと知りたい方へ

農林水産省の「畜産環境対策」ページへのアクセス方法

①農林水産省公式トップページを下へスクロール。



②**「政策」**一覧の中から**「畜産局」**の「**畜産環境対策**」をクリック。



③ 畜産環境全般を説明した基礎的資料(めぐる情勢)や関連の法律、調査結果、支援施策、広報資料等を掲載しています。



農林水産省の「堆肥の有効利用」のページへのアクセス方法

④ 畜産環境対策の「重要情報」にある「家畜排せつ物に由来する堆肥の有効利用について」をクリック。



- ・ 査産環境問題とは
- 家畜排せつ物法とは
- 家畜排せつ物の発生と管理の状況
- 家畜排せつ物法管理基準と施行状況
- ・ 畜産経営に関する排水基準について
- 家畜排せつ物に由来する堆肥の有効利用について
- ▶ クロピラリドによる園芸作物等の生育障害に関する情報

⑤ 堆肥供給者リスト一覧や、堆肥利用における優良事例、堆肥 の広域流通に向けた支援施策をご紹介しています。



(畜産局のトップページからも) 農林水産省の「畜産環境対策」ページへのアクセス方法

①農林水産省公式トップページを下へスクロール。



②「政策」一覧の中から「畜産局」をクリック。



③畜産局のトップページを下へスクロール。



④「品目ごとのご案内」の中から「畜産環境対策(家畜排せつ物関係)」をクリック。

品目ごとのご案内



⑤先ほどと同様に畜産環境対策のページへアクセスできます。

